

5. 「LPガス業界における環境方針とアクションプラン策定のための調査」調査結果概要図

(実施者: 社団法人大分県エルピーガス協会)

【調査目的・内容】

LPガス販売事業者における消費者や建築事業者等のサブユーザーへの周知・提案活動上の課題把握と対策検討を行うとともに、当協会における環境・省エネに関する会員事業者への支援策の検討を目的とする。

文献調査

[環境や省エネに関する国や大分県の施策等を整理した。]

消費者向けアンケート調査: (有効回収件数:1,030件、回収率:51.5%)

[LPガス消費者に対し、エネルギー事業者の環境・省エネに関する提案状況等を確認した。]

住宅建築事業者向けアンケート調査: (有効回収件数:102件、回収率:34.0%)

[住宅建築事業者に対し、エネルギー事業者の環境・省エネに関する提案状況等を確認した。]

会員事業者向けアンケート調査: (有効回収件数:230件、回収率:74.4%)

[当協会の会員事業者に対し、環境・省エネに関する活動実態と今後の取り組み意向等を確認した。]

【調査結果】

文献調査

大分県においては家庭部門におけるCO₂排出量を平成22年度までに対平成14年度比で約6%(86千トン)削減する目標が定められている。また、上記削減目標を大分県民1世帯あたりに換算すると約175kgとなる。

消費者向けアンケート調査

今後希望する「環境」や「省エネ」に関する情報提供や提案の内容としては、「日頃の生活で行えるエコや省エネへの取り組み内容」が53.2%と最も多くなっている。

今後ガス・電気機器を購入する際には、「使用するエネルギーの環境へのやさしさ」、「機器の省エネ性能」等の「環境」や「省エネ」に関する項目を重視する傾向が確認されている。

住宅建築事業者向けアンケート調査

LPガス販売事業者等に希望する情報提供や提案の内容としては、「チラシやカタログなどでの省エネ機器などの説明」(58.8%)、「省エネ機器などに対する補助金制度の紹介」(38.1%)が上位に挙げられている。

今後、施主に機器を提案する際に重視する点について、「環境」や「省エネ」に関する項目では「機器の省エネ機能」(非常に重視:19.6%、重視:67.0%)が挙げられている。

会員事業者向けアンケート調査

消費者に行っている「環境」や「省エネ」への取り組みとしては、「チラシやカタログなどで省エネ機器の説明を行っている」等、省エネ機器の説明や提案に関する項目が上位となっている。

H19.9時点での各事業者の社員・従業員のガス機器導入比率は低く、導入比率が「50%以下」の事業者は、「ガラストップコンロ」で85.9%、「ガス給湯器」で73.3%、「エコジョーズ」で96.0%となっている。

「2010年までにLPG車を26万台増加させる」との業界目標の認知度は低く、「知らない」が56.2%と、「知っている」の11.9%を大きく上回っており、LPG車に対する意識の低さがうかがわれる。

【課題・対策】

「環境や省エネに関する意識の向上」、「環境や省エネに関する知識の習得による提案力の強化」、「LPガス業界における一体的な取り組みの推進」が今後の課題として挙げられる。

当協会における対策として、「対策推進に向けた計画・運営組織の組織化」、「LPガス業界における業界目標の設定」、「セミナーや勉強会の開催」、「成功事例の収集や周知」に取り組んでいく必要がある。

また、各会員事業者における対策としては、「環境・省エネに関する目標の設定と貢献度の公表」、「具体性のある情報提供・提案の強化」、「社内での環境・省エネへの取り組みの推進」、「LPガス料金の工夫」、「成功事例の当協会へのフィードバック」が挙げられる。